

第11回社会貢献大賞の審査結果

平成17年から会員（都府県方面遊協）の行った優れた社会貢献事業を顕彰する「社会貢献大賞」を実施し、マスコミを始め内外に多くの感動と反響を与えてきた。

第11回「社会貢献大賞」については、平成27年1月から12月までの1年間に行った社会貢献活動を対象として、都府県方面遊協が実施した事業のほか、規模は小さくとも地域への貢献度が高い支部組合や組合員ホールが実施した事業を、事業の実施主体ごとに募集した。

1. 募集結果

2月末日に申請を締め切った結果、29都府県方面遊協から70件の申請があり、内訳は実施主体別で、都府県方面遊協25件、支部組合18件、組合員ホール27件であった。

2. 審査結果

3月23日（水）の常任幹事による第1次審査会、4月14日（木）の「社会貢献活動審査委員会」（堀田力委員長、脇田直枝委員長代行）を開催し、企画の独創性、実施効果、継続性、地域からの期待度などをもとに、委員会で議論・審査した。

その結果、第11回社会貢献大賞に和歌山県遊技業協同組合の「周年記念“安全・安心とふくしの街づくり”」事業に決定したほか、都府県方面部門の最優秀賞には兵庫県遊技業協同組合の「ポスト震災20年の新たな地域創生に向けた社会貢献活動の推進」事業に決定し、あわせて合計13の事業を表彰することとした。

審査結果と顕彰事業の詳しい事業内容は、この「社会貢献活動年間報告書」に記載されている。結果的に顕彰には至らなかったものの、高く評価された最終審査にノミネートされた事業は次のとおりである。

都府県方面部門

- 東京都遊技業協同組合
「『東京パチンコボランティア基金』による青少年育成ボランティア団体の助成」事業
- 岐阜県遊技業協同組合
「老人介護施設に対する『あいばち』生きがい支援活動」事業
- 京都府遊技業協同組合
「車いす用車両の寄贈」事業
- 岡山県遊技業協同組合
「長期間にわたる社会貢献活動」事業

支部組合部門

- 青森県遊技業協同組合 西北五支部
「車椅子の寄贈」事業
- 神奈川県遊技場協同組合 相模原遊技場組合
「街の安全広報部隊事業 10年」事業
- 岐阜県遊技業協同組合 東濃遊技業組合
「地域貢献を目指したAED等導入プロジェクト」事業
- 岡山県遊技業協同組合 総社支部
「長期間にわたる社会福祉活動及び防犯活動支援」事業

組合員ホール部門

- 札幌方面遊技事業協同組合 株式会社ビクトリア観光
「児童養護施設に対する支援活動」事業
- 茨城県遊技業協同組合 有限会社伸和商事
「シンワ杯 第4回学童軟式野球大会の開催」事業
- 埼玉県遊技業協同組合 サンキョー株式会社
「SAP草加店『SAP草加 防犯パトロール隊』による安心安全まちづくり活動」事業
- 岡山県遊技業協同組合 株式会社三永
「社会貢献福祉基金『サン基金』の助成」事業
- 大分県遊技業協同組合 株式会社光会館
「消防指揮車を寄贈」事業
- 沖縄県遊技業協同組合 三州観光開発沖縄株式会社
「日本赤十字社沖縄支部に対する活動資金の継続支援」事業

以上